

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公表番号】特表 2005-532887 (P2005-532887A)

【公表日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-043

【出願番号】特願 2004-522529 (P2004-522529)

【国際特許分類】

**A 6 1 F 2/84 (2006.01)**

**A 6 1 B 17/00 (2006.01)**

**A 6 1 F 2/06 (2006.01)**

**A 6 1 M 25/01 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 M 29/02

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 F 2/06

A 6 1 M 25/00 4 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 11 日 (2006.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

近端及び遠端を有する医用移植体であって、移植部位においては重複構造をとるように予備成形されるが、マイクロカテーテル (22) 及び前記近端に配置される誘導ワイヤ (21) による前記移植体の導入を可能にする体積縮小形態をとるようにつくることができ、前記重複構造にある前記移植体 (1) が長さ方向に開いたチューブの形態をとり、相互連結されたストリングまたは線条 (2) のメッシュ構造 (3) を有し、前記移植体は前記ストリングまたは線条 (2) が連結点 (5) で収斂する前記近端でテーパ構造 (B) を示すことを特徴とする移植体。

【請求項 2】

前記移植体が形状記憶特性を有する合金を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の移植体。

【請求項 3】

前記体積縮小形態が渦巻きバネと同様に巻き上げられた構造であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の移植体。

【請求項 4】

前記テーパ構造 (B) が、前記テーパ構造 (B) の中心に合わせて配置された前記連結点 (5) で終端することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の移植体。

【請求項 5】

前記テーパ構造 (B) が白金スパイラル (28) に収斂すること特徴とする請求項 4 に記載の移植体。

【請求項 6】

前記移植体が前記長さ方向にひらいたチューブを形成するように巻き上げられた型抜きホイールからなることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の移植体。

**【請求項 7】**

前記移植物が前記長さ方向に開いたチューブを形成するように巻き上げられたエキスパンドメタルホイルからなることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の移植物。

**【請求項 8】**

前記移植物が前記メッシュ構造を形成するように溶着で相互連結された個々の線條 (2) からなることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の移植物。

**【請求項 9】**

前記移植物が個々の線條 (2) のメッシュ編組からなることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の移植物。

**【請求項 10】**

前記線條 (2) がローブ様構造に加工された個別のストランドを含む特徴とする請求項 8 または 9 に記載の移植物。

**【請求項 11】**

前記メッシュ編組が、用いられる製造方法により巻き上げられた縁端 (7, 8) が得られる、編み上げ構造を有することを特徴とする請求項 9 に記載の移植物。

**【請求項 12】**

前記編み上げ構造がドイツ語で“フリュス”として知られる織布であることを特徴とする請求項 11 に記載の移植物。

**【請求項 13】**

前記長さ方向に開いたチューブの前記縁端 (7, 8) が重なり合うように形成されていることを特徴とする請求項 11 に記載の移植物。

**【請求項 14】**

前記移植物が前記遠端に 1 つまたは複数のマーカー (12) を有することを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか 1 項に記載の移植物。

**【請求項 15】**

前記 1 つまたは複数のマーカー (12) が前記ストリングまたは線條 (2) の結合点の末端に配置されていることを特徴とする請求項 14 に記載の移植物。

**【請求項 16】**

ニューロステントとして用いられることを特徴とする請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の移植物。

**【請求項 17】**

血管壁風船様拡大、フィステルまたは血管分枝を閉塞するためのニューロステントとして用いられることを特徴とする請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の移植物。

**【請求項 18】**

誘導ワイヤと請求項 1 から 16 のいずれか 1 項に記載の移植物とを含み、該移植物 (1) が前記誘導ワイヤ (21) の遠端に切り離し可能な態様で配置されていることを特徴とする キット。

**【請求項 19】**

前記誘導ワイヤ (21) に、前記誘導ワイヤ (21) の前記遠端において、電気エネルギーの影響の下で腐食し得る連結素子 (23) を介して前記移植物に連結される白金スパイラル (26) が備えられていることを特徴とする請求項 18 に記載の キット。

**【請求項 20】**

前記電氣的に腐食し得る連結素子 (23) が、前記誘導ワイヤ (21) の遠端白金スパイラル (26) と前記移植物 (1) の近端白金スパイラル (28) の間に配置されていることを特徴とする請求項 19 に記載の キット。

**【請求項 21】**

動脈瘤またはその他の血管異常の処置のための 装置 において、

第 1 のマイクロカテーテル (22)、

前記第 1 のマイクロカテーテル (22) を配置するための第 1 の誘導ワイヤ、

前記第１のマイクロカテーテル（２２）を通して移植物（１）を移動させ、前記移植物を所定の位置に配置するための第２の誘導ワイヤ（２１）、及び

前記第２の誘導ワイヤ（２１）の遠端に切り離し可能な態様で配置される請求項１から６のいずれかに記載の移植物（１）を含むことを特徴とする装置。

【請求項２２】

前記移植物（１）が、前記第２の誘導ワイヤ（２１）に電解腐食性素子（２３）を介して連結されることを特徴とする請求項２１に記載の装置。

【請求項２３】

前記移植物（１）が連結された前記第２の誘導ワイヤ（２１）を収容するように設計された第２のマイクロカテーテルをさらに含み、前記第２のマイクロカテーテルは、前記移植物（１）が連結された前記第２の誘導ワイヤ（２１）が前記第２のマイクロカテーテル内で滑動可能であり、前記第１のマイクロカテーテルを通して目標部位に移動させられ得るように、前記移植物（１）が連結された前記第２の誘導ワイヤ（２１）を収容することを特徴とする請求項２１または２２に記載の装置。

【請求項２４】

前記電解腐食性連結素子の電氣的腐食を生じさせる補助装置をさらに含むことを特徴とする請求項２１から２３のいずれか１項に記載の装置。

【請求項２５】

前記第１のマイクロカテーテル（２２）から放出された前記移植物（１）が、周囲の血管の寸法によりあらかじめ定められる大きさになるまで前記移植物（１）につくり込まれた重複構造をとることを特徴とする請求項２１から２４いずれか１項に記載の装置。